

山田雄二 ユウジ 經濟學者。明治二十五年十一月二十日山梨縣生れ、  
 平成八年被(一九二一六六)。昭和二年東京商科大学卒。一橋大學教授。  
 社會保障研究所所長、中央社會福祉審議會・人口問題審議會各會長等  
 歴任。日本學士院會員。

譯著書、ロッシヤー著 『歴史的方法に據る國家經濟學講義要綱』(譯、昭和十  
 二年十一月十五日岩波書店「岩波文庫」)、 『計畫の經濟理論 序説』  
 (昭和十七年十一月十五日岩波書店)、 『經濟學の將來』(合著・東京  
 經濟學研究所編、昭和二十一年十一月十五日廣文社)、 『戦後經濟學  
 の課題・2』(合著、昭和二十一年十一月十五日有斐閣「經濟學選  
 書」)、 『國民所得の計畫理論』(昭和二十四年五月二十五日岩波書  
 店)、 シュムペーター著 『大經濟學者(マルクスからケインズま  
 へ)』(共譯、昭和二十七年五月二十日日本評論新社)、 『國民所得  
 論』(昭和二十四年九月十五日岩波書店)、 『經濟の成長と型―國民  
 所得の國際比較』(昭和二十八年九月十六日岩波書店)、 サイモン・  
 ケズネッツ著 『戦後の經濟成長』(長谷部亮一共訳、昭和四十一年九  
 月十九日岩波書店)、 『社會保障研究九存説』(昭和四十三年十月一日  
 社會保障研究所「社會保障研究所研究叢書」)等。

